

# 「5/28 SUAC一般公開日」参加 技術造形学科project について

Shizuoka University of Art and Culture  
Faculty of Design  
Department of Art and Science

皆さんにも連絡が行っていると思いますが、5/28には、本学がスタートして最初の対外的イベントである「一般公開日」という企画があります。皆さん一期生も、大学そのものも、テレビや新聞で大きく注目されているように、市民はSUACにとっても興味を持っています。そして、高倍率の難関入試をクリアした学生の皆さん、それを迎えるわれわれ教員、そして大学そのものの施設や設備をこの一般公開日に前向きにPRすることは、SUACの知名度と好感度アップ、すなわち将来的には皆さん自身の進路にも大きなプラスとなります。そこで、せっかくのこの機会をチャンスととらえて、可能な限り、技術造形学科としてもいろいろと企画を提案して参加していきたいと思います。以下は、教員同士のメール交換の中から出て来た「こんなことができるかな」という、まだアイデアのみの「企画例」(カッコ内は担当教員イメージ[敬称略])です。ただし、教員がこれを勝手にやる、というわけではありません。大学の主人公は学生である皆さん自身です。つまり、このようなりストを見て、「あ、これをやってみたい」「もっとこういうことはできないかなあ」と興味をもって提案し、実際に取り組む皆さんがいない限り、企画は実現されません。

## (1) CAD/CAM造形コーナー (CAM室)

光造形の実演(望月) CAD/CGのビデオによる紹介(遠藤・望月)

## (2) CGコーナー (平面工房? 屋外?)

デジカメで撮影 学生がCGソフトで加工 プリンタで出力してお土産に(長嶋・李)

CG作品のビデオによるデモ(李)

## (3) ロボットコーナー (CAM室)

アームロボット、ロボットマウス、電子キット等の実演デモ(松原・遠藤)

## (4) 工芸・美術コーナー (工房)

銀細工・金属加工の実演、学生がお客さんを即興でデッサン(高梨・佐藤)

## (5) メディアコーナー (場所未定)

コンサートホールでのパフォーマンス(長嶋) インスタレーションの展示(長嶋・佐藤)

学生の皆さんが大学に企画を出すと、その企画が通ればそれぞれ3-5万円の補助が出ます。そこで、さりげなく(^\_^;)黒字を出し、ここに先生がたのキャンパを加えて技術造形の学生と教員とで、終了後、一緒に盛大な「反省会」(夕食会)を行って親睦を図ろう、という計画もあります。予算補助もいだけ、大学の機材を堂々と使いこなせて、大学のPRをして感謝されつつ、黒字で御馳走までゲットするというのは、なかなかオイシイ話だと思います。短期プロジェクトという一種の「お祭り」として活用するために、ここはひとつ、一緒に頑張ってみませんか?

取りあえず、上記の例で興味のあるテーマについては、カッコ内の先生のところに行って相談してみてください。また、上記とは別に「こんなことできないかなあ」という提案についても歓迎します。窓口としては、[1109望月・1106長嶋]が担当しますので、気軽においで下さい。あまり日程的な余裕はありませんので、なるべく早く、まずは意思表示をして下さい。

また、5/3-5の「浜松まつり」ですが、年に一度の絶好の「取材」のチャンスです。夙あげ合戦、御殿屋台引き回し、激練り、それらを撮影したり録音しておくことで、あとあとの作品創作のための「素材」として使えます。今年に記録しておかないと、来年まで取材できないのです。そこで、希望者は一緒に機材を抱えて参加しよう、というツアーの企画もあります。興味のある人は、これも[1109望月・1106長嶋]まで、気軽においで下さい。なお、これについては5/2のうちに研究室を訪問して予定を立てないと間に合わないので注意して下さい。

以上、いいチャンスとして、一緒にチャレンジしていきましょう。(^^)